

歌モノの作り方【歌詞編】

著：G-JackUF

出版：SOFTMEDIA

はじめに

この資料は、「これから歌モノを作ってみたい！」という人向けに作ったものです。「歌モノ」について知る、いい機会になればなあと思いながら作りしましたので、どうぞよろしく願います。

※作曲経験がない方には、分からない単語が出る恐れがあります。ご了承ください。

※ここに書かれているのは、あくまで「参考」です。

「ルール」と思って、表現力を拘束しないようにしましょう。

ルール2割：表現8割　くらいで作品は作りましょう

1. 歌モノについて知る

歌モノの特徴①「構成」

そもそも歌モノとは、歌い手(Vocal)がメロディの曲の事。

歌モノ以外（音ゲーの曲みたいなやつ）との違いはというと、

「**曲の構成**」いわば「**曲全体の流れ**」が違います。

歌モノは **〈Aメロ〉** **〈Bメロ〉** **〈サビ〉** **〈Cメロ〉** **〈間奏〉** **〈イントロ〉** **〈アウトロ〉** などのパーツから成っています。つまり、メロディを 【A・B・C・間奏・サビ・イントロ・アウトロ】 分作るわけですね。※Cメロやアウトロが無い曲もある

そして作ったパーツを下記のようにくっつけて曲にします。

パターン1 : **〈イントロ〉** → **〈Aメロ〉** → **〈Bメロ〉** → **〈サビ〉** → **〈間奏〉** → **〈Aメロ〉** → **〈Bメロ〉** → **〈サビ〉** → **〈Cメロ〉** → **〈間奏〉** → **〈サビ〉** → **〈適当に終わらせる〉**

パターン2 : **〈イントロ〉** → **〈Aメロ〉** → **〈Bメロ〉** → **〈サビ〉** → **〈Aメロ〉** → **〈Cメロ〉** → **〈サビ〉** → **〈間奏〉** → **〈Bメロ〉** → **〈サビ〉** → **〈適当に終わらせる〉**

このように、歌モノの構成を作っています。2パターンためしに書きましたが、組み合わせは自由なので、参考程度に思ってください。

歌モノの特徴②「歌」

歌モノでは、曲のメロディに当たる部分を歌にしています。

『歌』とは...メロディに沿って言葉（歌詞）を言うこと（たぶん）

歌モノを作るためには「歌詞」が必要 ということです。

この「歌詞」が、皆さん苦勞するところ！苦手な人は、歌詞を作るのが本当に難しいそうです・・・

以上の「歌」「構成」の2点が最大の特徴です。

メロディに歌を入れて構成がそれっぽかったら歌モノなんですよ。

それでは次は、歌モノの命とも言える「歌詞」の話に入っていきたいと思います。

2. **歌詞を作る前に...**

ここでは、歌詞について知り、歌詞が作りやすくなる要素などを紹介いたします。

歌詞とは・・・その歌を通して、聴者に何かを**伝える**為の詩

まずは、歌詞を作る準備のお話からしましょう

① その歌の意味を考える

歌詞を作る上で、最も大事なことは「**伝えること**」です。伝えたいこと自体は大きくなって構いません。どれだけ伝えたいかが重要です。

例えば・・・

- ・ 自販機の下に手を突っ込んだら 10 円をゲットした！
- ・ 朝にバナナ食べても痩せなかった！
- ・ 今こうして話している間にも人は死んでいるんだよ！
- ・ 彼女ができたまでの過程を自慢するよ！
- ・ 僕の考えたおとぎ話を聴いてくれい！

など、つまりは「**テーマ**」ですね。

なぜ大事か？それは、その曲を作るキッカケや、その曲のパワーになるからです。

さあ「**テーマ**」考えてみましょう？

*かの有名なボカロPさんは、歌を作る理由を尋ねられた時
「歌は会話の代わりだ」と言ったそうなの・・・
言ってみたい・・・(´ω´)

②世界観

おおまかなテーマが決まったところで、今度はその曲のおおまかな設定を決めましょう。

「自販機の下に手を突っ込んだら 10 円をゲットした！」

これをテーマとした曲の世界観を考えるとしたら・・・

パターン①：主人公は貧乏高校生！通学路の途中の自販機にためしに手を突っ込んだら 10 円ゲットした！こんなにうれしいことはない！土手や学校中を走り回ったあげく友達に自慢しよう！

パターン②：主人公はごく普通の高校生。落とした 10 円を拾うため自販機の下に手を突っ込んだら、僕は異世界に引きずり込まれた！（以下略）10 円を見捨てずに拾った僕は一国の主になった。

などなど、**登場人物**や**シチュエーション**を決めていきます。

ここで設定を細かく考えていると、歌詞を作る上でものすごく役に立ちます。作曲としては、楽器を選ぶときなんかにも、役に立つのではないのでしょうか。

③歌詞の役割分担

設定もあらかた練ったなら、「構成」の各パーツにどんな歌詞を入れるかを考えます。

ラブソングなら・・・

〈Aメロ〉

毎朝モーニングコールで起こす仲の幼馴染がいる。

それはもういつも通りのことで・・・

〈Bメロ〉

だんだんと綺麗になっていく幼馴染を、最近は目を合わせることが難しくなった、見るたび胸が引き締まる・・・

〈サビ〉

この気持ちはなんなんすかねー（すっとぼけ）

テーマソングなら・・・

〈Aメロ〉

どんな時もそばにいてくれる

ピンチの時に助けてくれる 僕のヒーローがいる

〈Bメロ〉

生まれてから どんな時も支えてくれたのに

なぜいなくなっちゃったんだよ！財布の中に帰ってきてくれ！

〈サビ〉

お金くれ（テーマ）

メッセージソングなら・・・

〈Aメロ〉

なんでこんなちっぽけな奴らに従わなくちゃいけないんだ？
俺ならもっと大きなことができるんじゃないのか？

〈Bメロ〉

とはいえやりたいことは全部お金がかかるし手間がかかる・・・
仕事をやめるタイミングもわからない・・・
僕なんて・・・私なんて・・・

〈サビ〉

やってもいない事に何言ってんの
どうせ死にはしない

物語なら・・・

〈Aメロ〉

歌の上手な貧乏な女の子がいましたとさ

〈Bメロ〉

街へ買い物に行ったとき、ある怪しげな男に歌を褒められ、皆の前
で歌ってと言われたそう

〈サビ〉

元気よく歌う少女 踊る観客 息の合った手拍子
明るい舞台が終わる頃 怪しげな男は不気味な笑みを浮かべてい

た・・・

と

このように

〈1番Aメロ〉が「出だしや風景（時と場所など）」

〈1番Bメロ〉が「現状やサビへの転じ」

〈1番サビ〉は「一番伝えたいことを全力で表現するところ」

それぞれのパーツに意味を持たせます。

パターンを変えて

〈1番Aメロ〉で「現状」

〈1番Bメロ〉で「風景や世界観」

でもおk。ようは分かりやすく展開できればいい。

※Cメロや二番では、一番で見せなかった面を表現していこう

次はお歌詞の作り方をご紹介します。

ラストスパートです！頑張ってください！

3. 歌詞を作る

いよいよ歌詞を作る準備が出来ました！「いつ」「だれが」「どのように」・・・練りに練った設定を「言葉」として出力します。

「言葉」選びは、「字数」と「韻」を意識して行いましょう。

字数とは

母音 (a、i、u、e、o) を1音と数えること。

※「しゃ」も「sya」とローマ字表記でき、母音の数は1つなので1音です。「っ」や「ん」長音「ー」も1音としてカウントします。

例：だんご三兄弟 の歌詞より

「くしにささった」⇒7音

「だんご」⇒3音

「みつつならんで」⇒7音

「だんご」⇒3音

となります。

韻とは

言葉の母音を合わせること

意識しすぎて、意味不明な歌詞になるなら、無理に韻は合わせなくてもいいです。

このことを頭に入れて、自分の歌詞を、メロディーの一音一音に当てはめていきましょう。

例：1 番のサビの歌詞が

こんなに 生きたいと ねがっても

○○○○ ○○○○○ ○○○○○ (4 音 5 音 5 音)

の場合

2 番のサビの歌詞は (母音表記)

おうあい いいあいお えあ・えお

○○○○ ○○○○○ ○○○○○ (4 音 5 音 5 音)

となるとごく自然な歌詞になる。

明確な正解はありませんが、**歌詞とメロディが出来たら、口に出して歌ってみる**といいと思います (私は必ずそうしてる)。

やはり歌モノの歌詞は、歌ったときの「歌いやすさ」、そして「思わず歌っちゃうメロディと歌詞」がいいですよ。

どんな言葉選びで、その場面場面を表現するかは作り手次第・・・
中二っぽい難しい言葉を使ってもいいし、聴者の為に分かりやすい言葉を使うもよし。**大事なのは設定を崩さないことです。**

※同じ言葉を何回も使っていると飽きられますのでご注意を。

以上で【3. 歌詞を作る】になります

4. まとめ

今回書いた内容を、実際に歌モノを作る過程とともに書いてみますね

①. 伝えたいことを考える！

面白い曲が作りたい！

「バレンタインでチョコを貰ったことがない」をテーマにしよう！

↓

②. 世界観を考える！

主人公はチョコを今までもらったことのない中学生！

今日はバレンタインデー！今日こそはもらえるだろう（起）

恒例の場所を探してみよう（承）

どこにもない…ふざけんな！（転）

チョコが何だってんだ羨ましくないぞ！ただ溶かしただけじゃねえかふざけんな！まあそれはそれとして僕はチョコが大好きなんですよ（チラチラ）（結）

↓

③. Aメロ Bメロなど役割を決める！

流れは

〈Aメロ〉 → 〈Bメロ〉 → 〈サビ〉 → 〈Aメロ〉 → 〈Bメロ〉 →
〈サビ〉 → 〈間奏〉 → 〈Cメロ〉 → 〈サビ〉 → 〈アウトロ〉

1番

〈Aメロ〉 チョコ探す チョコないやん

〈Bメロ〉 なんでもくないん？

〈サビ〉 羨ましくなんかないんだからね！

2番

〈Aメロ〉 気を取り直して昼前、チョコ探す

〈Bメロ〉 なんでもくれへんの

〈サビ〉 なんでもみんなもらってるの？食べきれないんじゃないの？

おれチョコ好きだよ

〈間奏〉

〈Cメロ〉 本当にチョコ好きなんですよ本当

〈ラストサビ〉 なんでもいいからチョコ下さいお願いします。余ったものでいいんで…市販の奴でいいんで…

↓

④. 歌詞を考えてメロディと合わせる

字数に気を付けて、言葉を詰め込ませ過ぎないように。（ここで、歌詞とメロディがマッチしてるかどうか自分で歌ってみよう！）

↓

⑤歌う又は歌ってもらおう

ボカロは調教が大変だからもしやるとしたら頑張ってね！

↓

⑥作ったオケと歌を合わせる

最初は合わせるのがうまくいかないだろうけど、頑張って！

↓

⑦曲が出来ました

※ここで GJ が曲を流す

どうでしょうか？歌詞作りのイメージは湧きましたか？

以上が講座の内容となります。

おわりに

さて、今回は歌モノのメロディに当たる部分を集中してご紹介しました。えっ、他にもなんかあるの！？って思ったそこの僕。

確かに細かく言えば、まだまだ紹介することはあるけれど、それはあなたが作りたいと思うジャンルによりけりです。

あとは、自分で作りたいジャンルの歌モノを考え、その作ろうと思っている曲に似ている、近い曲（いわゆる参考曲）を見つけて、そこから学んでいきましょう。

「歌詞」はどんな歌モノでも重要な要素だったので、講座一個まるまる使っちゃいました。

今後は、GJ個人として教えることでしたら大歓迎ですので、分からないこと・詰んだことがあったらいつでも声をかけてください。

~ GJackUF ~

おわり

よくありそうな質問コーナー↓

Q1 . 選ぶ楽器に決まりはありますか？

A1 . 作るジャンル毎に違います。

バンド風なら〈ギター・ベース・ドラム・ボーカル・キーボード〉
ニコニコに上がっているような曲なら〈バンドものの楽器構成+シンセやピアノ+パーカッション〉

トランスというジャンルのメロディ部分を歌にしたものもあります

Q2 . 歌がぼやけて聴こえちゃう

A2 . 経験者にその曲を聴いてもらって、指導してもらおう！

実は難しいことなので、ここでは書きません。

Q3 . 歌詞が浮かばない

A3 . お風呂や寝る前に自分の世界観を作ったりして、考えてみよう。絵本や小説など読むとき、物語の流れを意識すると自分の作品に活かせるかも。

Q4 . 語彙力がない

A4 . わかる

Q5 . 語彙力が無い！！！！

A5 . 僕は同類語検索「weblio」を使ったりして補っています。
語彙力を上げるには、文章を読むのが一番いいと思います。

Q6 . 表現力が無い

A6 . わかり

僕は作りたい作品に似た雰囲気のもの、「絵」や「アニメ」などを見て、作者の表現力を真似たりしてます。かなり重要です。

Q7 . パクリっぽくなっちゃう...

A7 . 上達している証拠です。「どこからどう聞いてもパクリ」は耳コピになってしまいましたが、雰囲気や作風を似せれることは、技術の向上の証です。最初のうちはパクリっぽくていいんです。成長した後、思いっきり個性を出してしまえばいいんです。

Q8 . 打ち込みだと機械っぽくなってしまふ。

A8 . 音一つ一つの「ベロシティ」や、鳴らす「タイミング」を微妙に動かして、さも人間が弾いているかのように出来ます。

DAW に付属している機能「ヒューマナイズ」を使ってみましょう。

Q9 . ポカ口の調教って難しいの？

A9 . クオリティをどれだけ求めるかによります。

人間っぽくするのはめっちゃめっちゃ難しいですが、人間っぽくなくていいのならば全然難しくありません。メロディ入れて歌詞を入力するだけですから。

Q10 . 歌詞を聞かれるのが恥ずかしい(/ω\)

A10 . 最初のうちは恥ずかしいかもしれないですけど、慣れました。慣れてません。みんなが聞いているときは、明日の天気について考えてたりします。

Q11 . 上達したい

A11 . 一曲作るたびに、新しいことにチャレンジしましょう。

一曲で、参考曲を真似するんじゃなくて、少しずつ参考曲の技術を数曲に分けて勉強する。とかおすすめですよ。

Q12 . うまい人が何をやっているのかが分からない

A12 . わかる範囲で勉強していきましょう。詰んだ場合は、「エフェクト」や「コード」など、いままで勉強してきたことを煮詰め

ていくと、答えが出るかもしれません。

迷わず先輩や友達に「自分の曲に何が足りないか」を聴くのもいいと思います。

Q13 . お金をかけないといい曲は作れない？

A13 . ぶっちゃけると、「作曲の基礎」を学ぶのはタダでもできますが、「クオリティ」を求めるとなると必要になります。ですが今の自分に「本当に必要なモノ」だけを買っていけば、合計数万以内には収まると思います。

Q14 . 好まれる曲を作りたい！

A14 . 「これぞ好まれる方法！」というのではありません（分かったら食べていける）。ですが、いい曲とは、『いい歌詞』と『いいメロディ』がうまくかみ合っこそだだと思います。例を挙げてみましょう。

いいメロディ



歌詞「無くさない魂は」



歌詞「猫じゃらし楽しいな」



とこんな感じに

かっこいいメロディなのに歌詞の内容が「可愛い」「楽しそう」だと、雰囲気壊れちゃいますね。

資料中にも書きましたが、作品で大事なものは雰囲気です。思い浮かんだメロディと相談して歌詞は作りましょう。そうすると、いい曲はできていくんじゃないかなあ